



天文資料

2024年3月号

令和5年度 第12号 (3月号)

令和6年2月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<月が木星、すばるに近づく>

3月は昼の時間が長くなり、星が見え

始める時刻も遅くなっていく季節です。夕

方、西の空には木星が見えています、

よいそらもくせいみじかんひひ

宵の空に木星が見られる時間が日に日

に短くなってきます。13日から14日に

かけて、細い月が木星に近づきます。13

日は、月齢3の月が木星より低い位置に

見えます。14日は、月が木星より高い

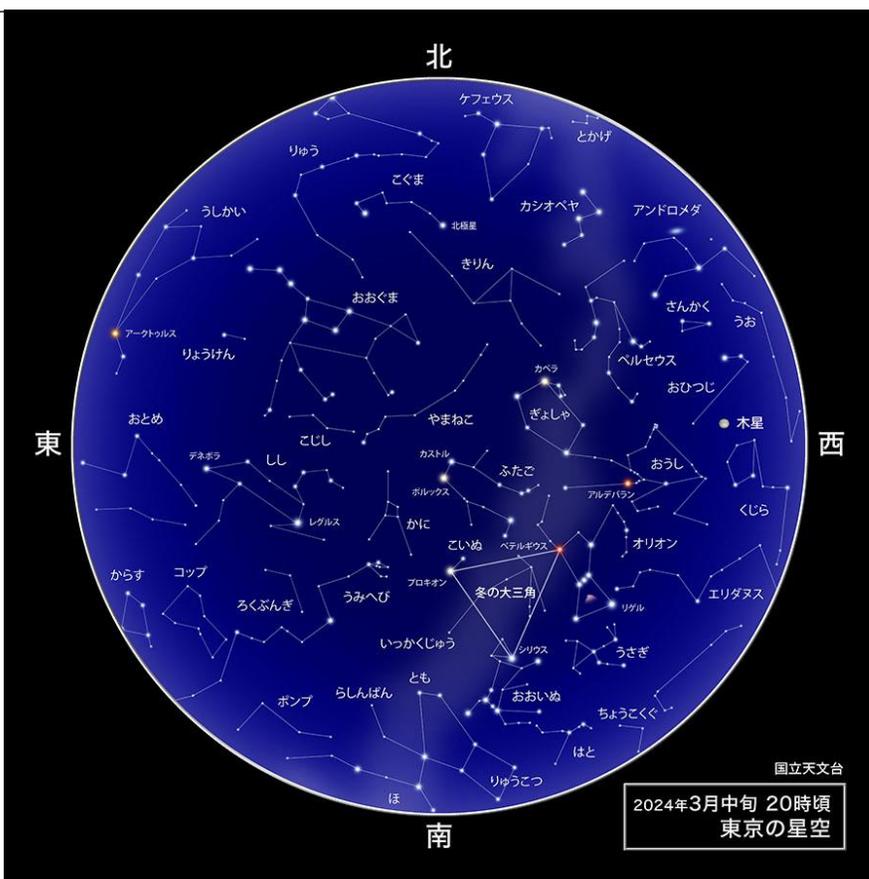
位置に見えます。15日は、月がおうし座の

すばる(プレアデス星団)に近づきます。

月の形はまだ細いですが、月の明るさで星団の星々を肉眼で見つけることは難しいかも

しれません。双眼鏡などを使うと、より楽しむことができます。水星が25日に東方最大離角となり観望の好機です。また、25日の満月は半影月食の

状態で昇ってきますが、いつもの満月との違いはよくわからないでしょう。



国立天文台
2024年3月中旬 20時頃
東京の星空

- 4日 下弦
- 5日 啓蟄
- 10日 新月
- 17日 彼岸の入り/上弦/海王星が合
- 20日 春分の日/春分(太陽黄経0度)
- 25日 満月/水星が東方最大離角



天体観望会のお知らせ...木星・すばる・冬の星座・春の星座

3月16日(土)18:30~ <3月10日(日)から受付開始>

電話予約制(23-1517) 定員50名

観覧料: 小中学生150円、高校生以上320円

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

